

## 研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

令和5年12月  
東京都立大学

東京都立大学では、「双対型」の能力を持つ人材の育成」を方針として掲げる。双対型とは、本学の理念に示す「広い分野の知識」と「深い専門の学術」、2つの異なる方向性の能力を意図する。自身の専門分野の深化はもとより、異分野との対話により多視座を涵養し、高いコミュニケーション力、主体性を併せ持つ次世代高度専門人材の育成を目指す。

複雑かつ多様な課題を抱える現代社会において、これからのトップ研究者に求められる能力は、既存の学術領域にとらわれず、必要な関連分野を巻き込んでこれまでの常識の延長線上にないイノベーションを生み出すことである。この能力を培うためには、個々の学術分野の高度な専門的知見による卓抜した一点突破能力に加えて、専門分野以外の関連する幅広い学術・技術分野との連携や思考体系をバランスよく理解でき、多視座から物事を見る能力を備えた「双対型」の能力獲得のための人材育成が重要となる。

### 具体的な取り組みについて

上記育成方針に基づき、博士人材支援室が中心となり、特別研究員-PD・RPD・CPD（以下「特別研究員-PD等」という。）の研究環境の構築を図るとともに、キャリア支援を実施する。また一部博士後期課程支援施策とも連携し、世代や分野を超えた幅広い交流機会を提供し、多視座を涵養できる環境を構築する。また、女性研究者の支援についてはダイバーシティ推進室と連携し、特別研究員-PD等の雇用開始を機に、新たにアーリーキャリアの研究者の支援に取り組む。

#### 【FDセミナーの拡充】

本学FDにおいて、シラバス作成や授業教授法等の講義を設けることで将来のアカデミア志望の若手研究者に必要なスキルを涵養する。

#### 【博士人材支援室教員による面談の実施】

博士人材支援室の教員により、研究進捗状況の共有や適性に合致したキャリア相談を随時受け付ける体制を構築する。面談を行い、研究及び進路について、研究の進捗に合わせて適切な個別サポートを実施する。

#### 【異分野交流ワークショップ等の実施】

多様な専門分野の若手研究者が集う合宿形式のリトリートを実施し、異分野の研究者等に向けて自身の研究の価値を伝えるトレーニングの場、及び参加者同士のコミュニケーションの場、さらには将来の共同研究者としてのつながりを作る場を設ける。

#### 【多視座涵養講座への参加】

様々な分野における最先端の技術・社会的課題の知識を獲得するため、本学の最先端を行く教員を中心に、それぞれの分野における研究や課題を講義形式で説明する科目を特別研究員-PDへ開放する。他分野での研究の最前線や研究手法、文化について理解を深める。